

『左官業務及び内装仕上げ業務』 安全衛生のポイント

作業時の注意点(足場、脚立等)

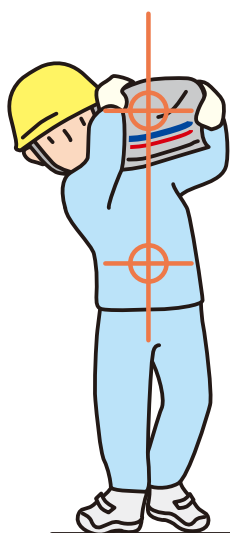
(1) 材料運搬時の注意点

材料等の運搬は、台車、一輪車等を使用します。無理に運ぶと腰部を痛めることがあります。できるだけ腰への負担を軽減しよう。

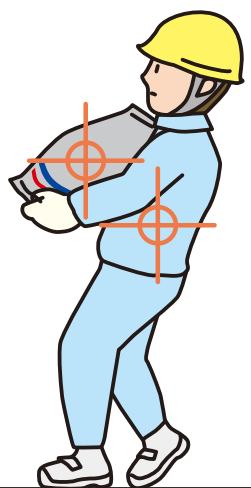
〔重量物を運搬する場合〕

身体の重心と物の重心を
同じ垂直線上にする。

身体の重心と物の重心と
をできるだけ近づける。



かつぎ方



かかえ方



（２）可搬式作業台の安全な昇降

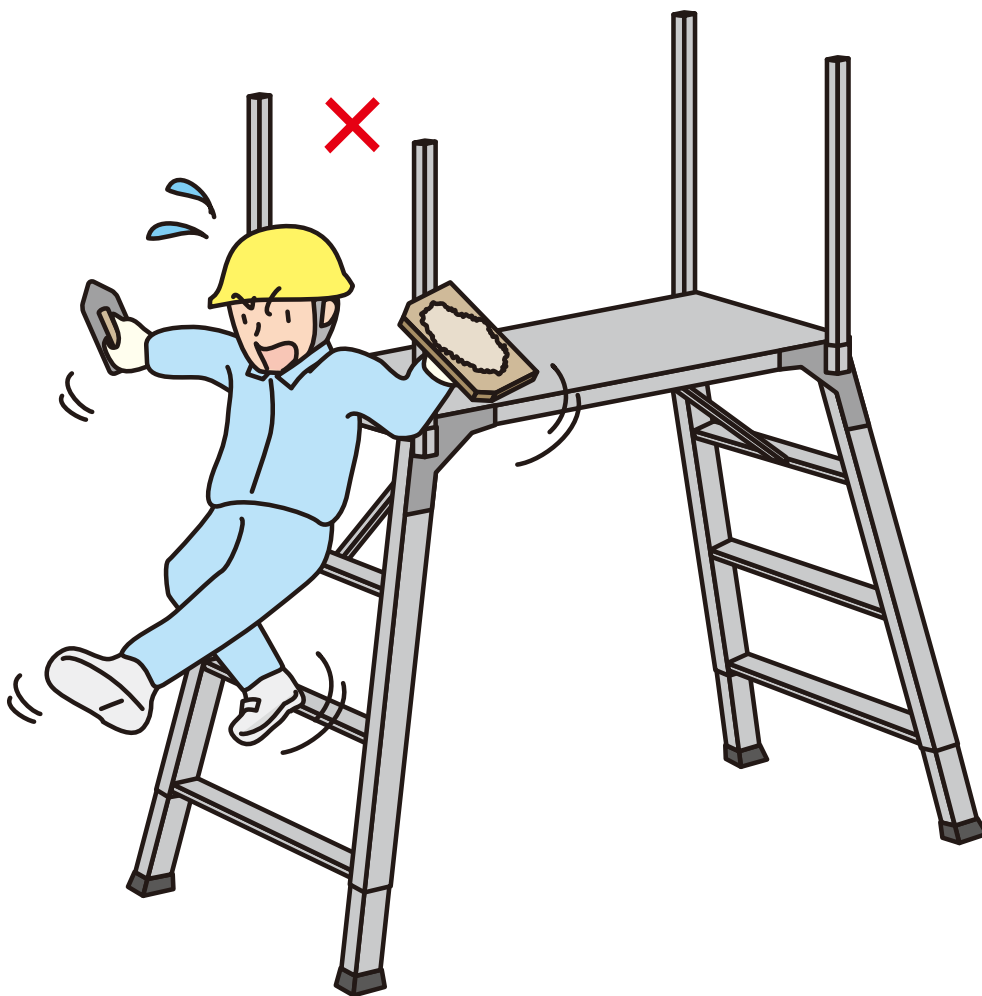
- 脚立、可搬式作業台は、平坦な場所に設置し、止め金が止まるまで開き設置します。
- 脚立足場の作業床は、3点支持とし、各々のスパンは1.8m以下とし、1支点間に同時に2人以上乗ってはいけません。
- 脚立足場の組立ては、特別教育を受けた者が行います。

〔脚立足場の例〕



（3）可搬式作業台の安全な昇降

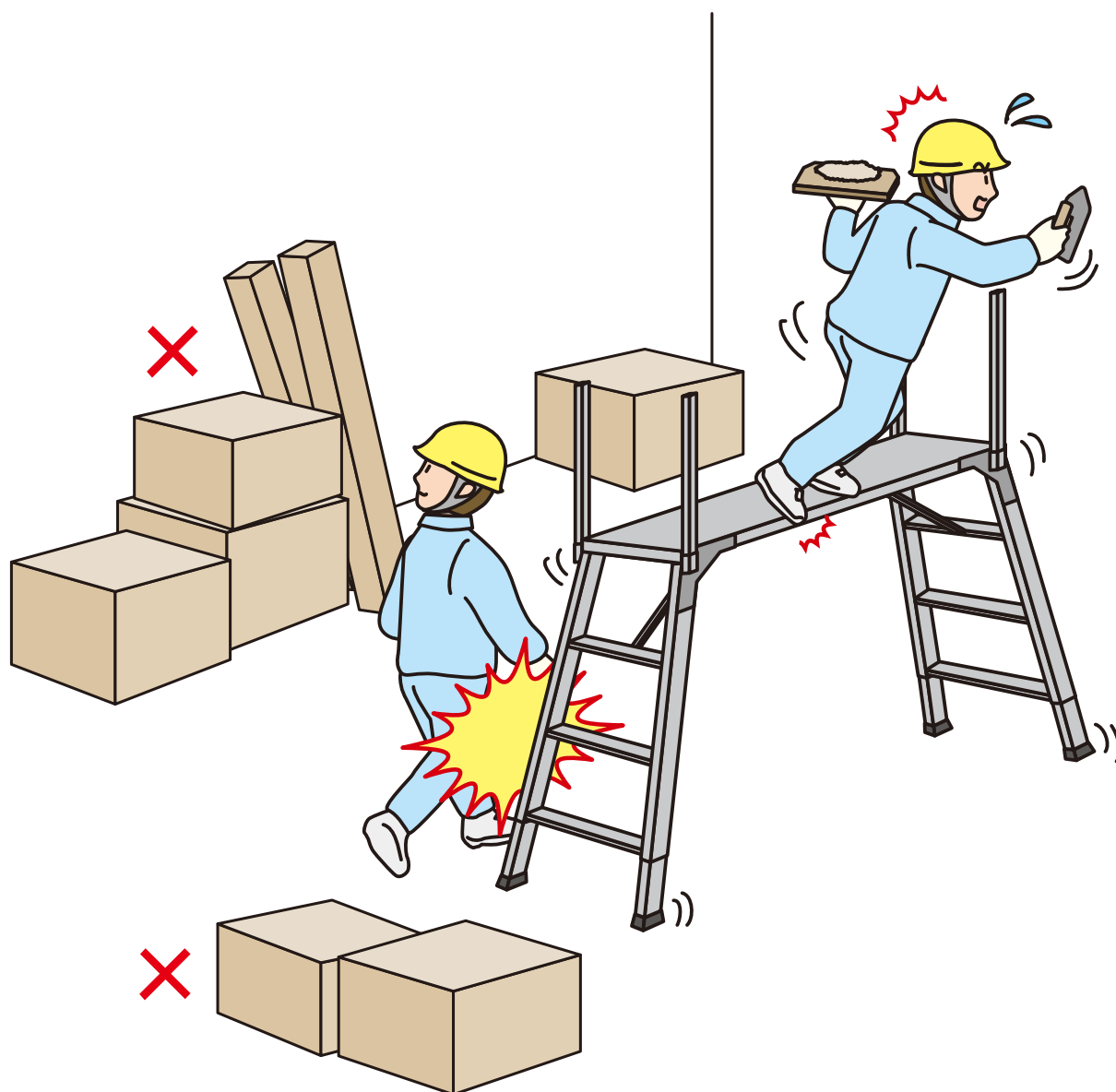
- 工具、道具、材料を先に足場上に上げ、手掛かり又は踏みさん等を持ってゆっくりと昇降しましょう。
- 作業台に背を向けて昇降してはいけません。



昇降時は手掛かり棒を使用しましょう

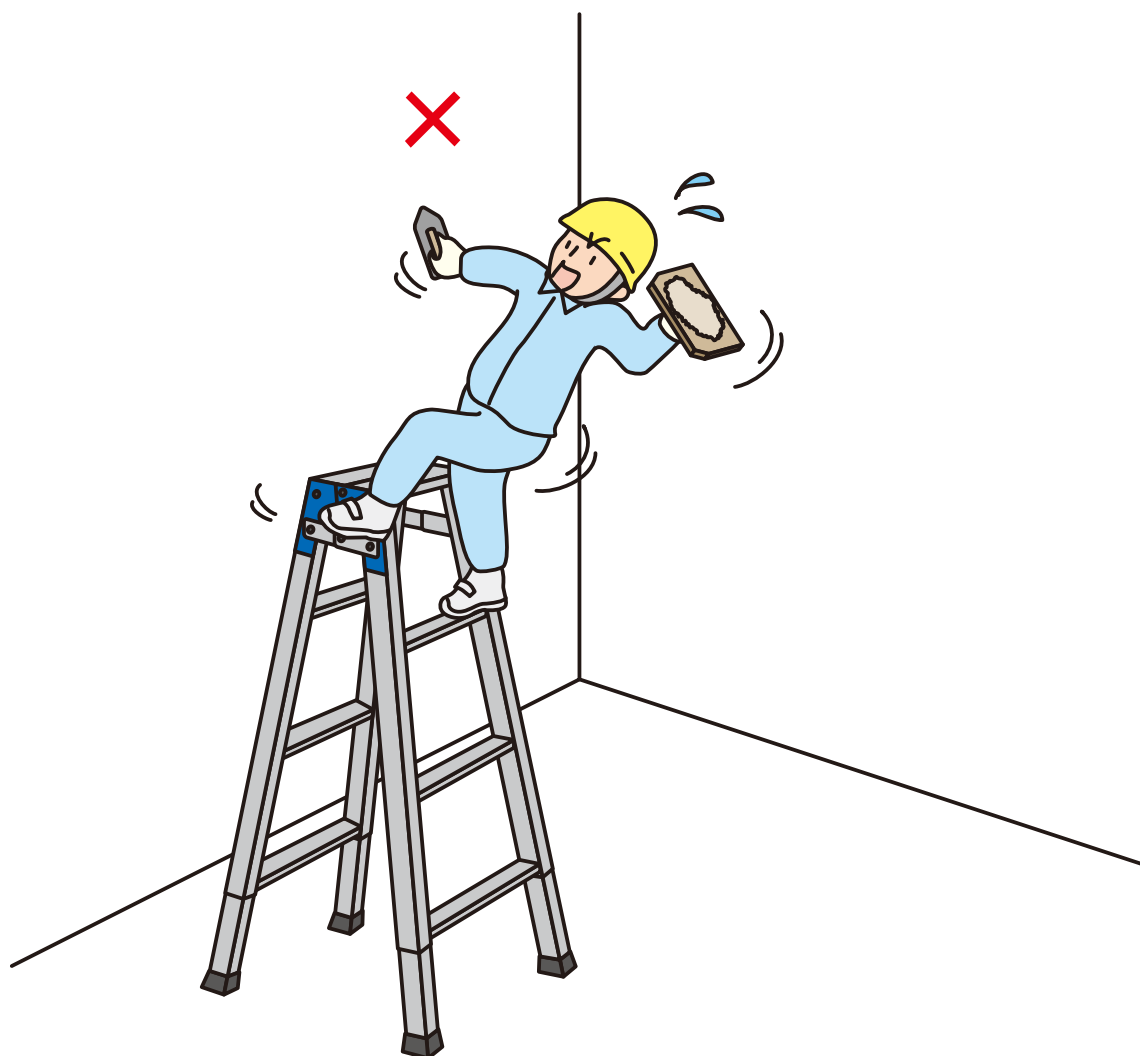
(4) 整理整頓で通路の確保

通路で可搬式作業台を使用し作業を行うときは、他の作業員も通路を使用するため、資材等の整理整頓を徹底し通路を確保しましょう。



（５）脚立の昇降は両手・両足で

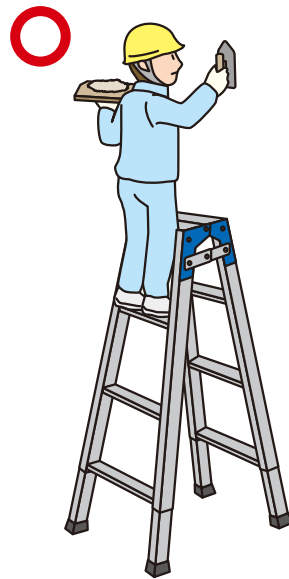
両手にコテやコテ板を持って脚立に昇降すると、バランスを崩して転倒するおそれがあります。昇降時には、荷物を持たず、両手・両足を使い３点支持で昇降しましょう。



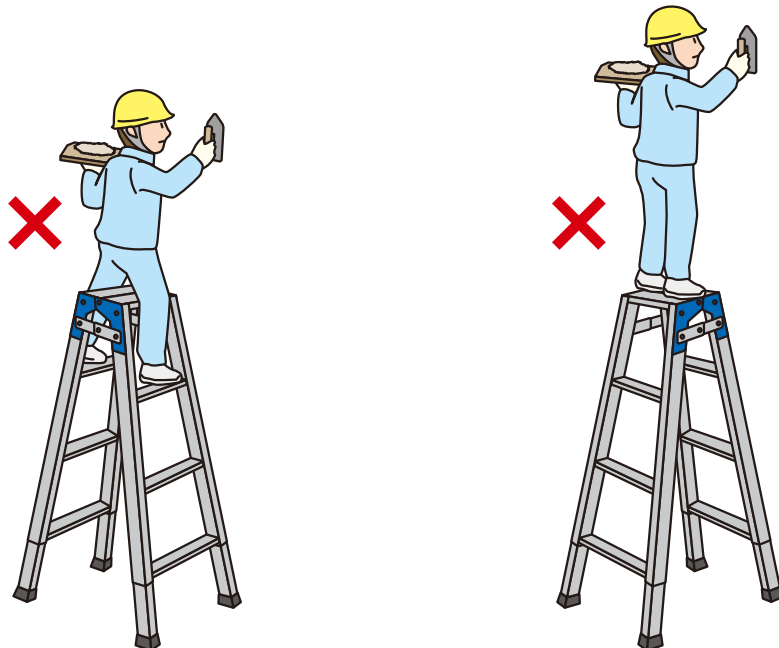
(6) 脚立の安全な使い方

脚立の天板に乗ったり、またがって作業をするとバランスを崩して、転倒・転落のおそれがあります。正しく使いましょう。

○天板に立たない、またがない

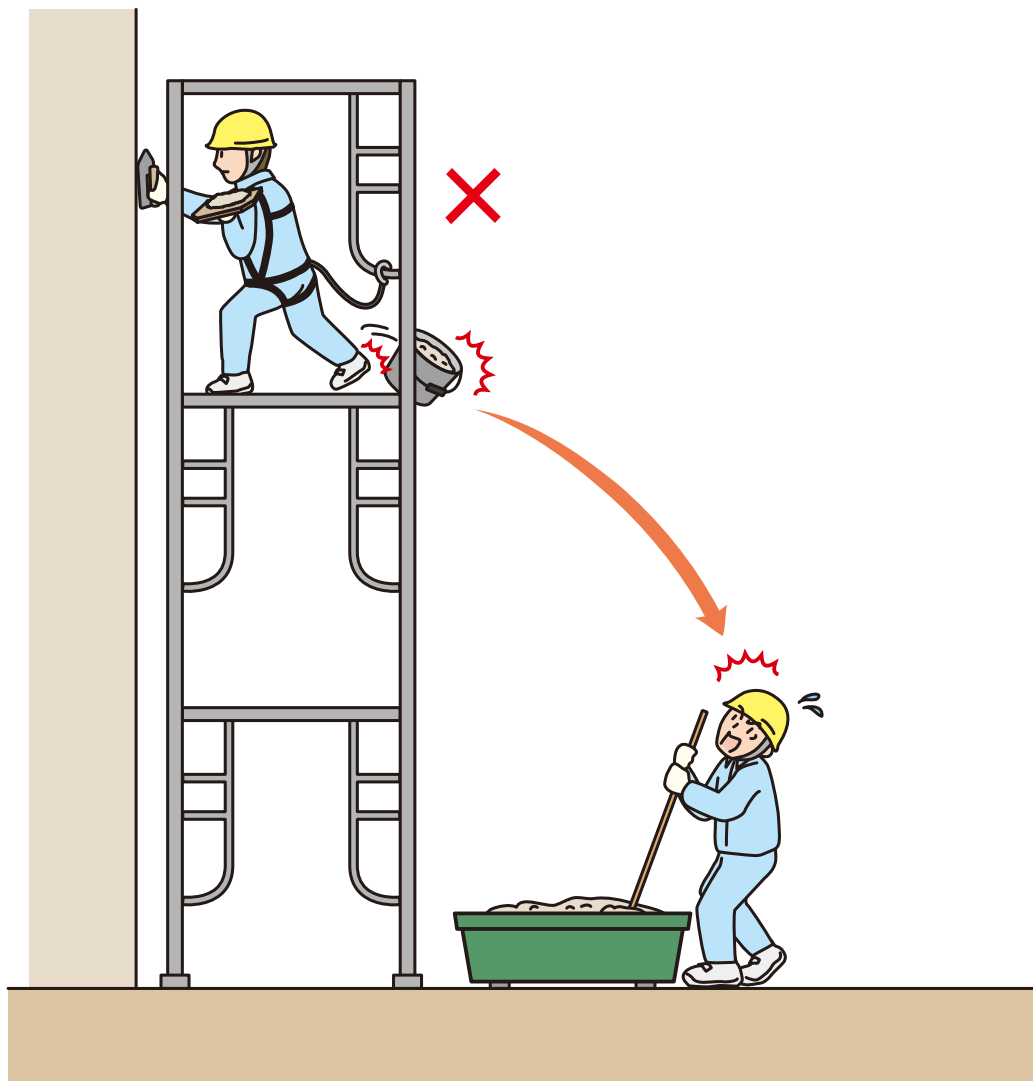


×天板に立つ、またぐ



（7）足場上に不用なものを置かない

足場上で壁の仕上げ作業をする際、工具などが誤って落下するおそれがあるため、足場上に工具や不要なものがないか、よく足元を確認しましょう。また、幅木やネットを取り付けましょう。



(8) 転倒災害に気をつけよう！

- 床に道具などが放置されていたり、大きな荷物を抱えて足元が見えない状態で作業していると、「つまづき」や階段の「踏み外し」などの転倒のおそれがあります。
- 歩行場所に物を放置しない、足元が見えにくい状態で作業しないということに心掛けましょう。

